



= タブレットを活用した「学校教育自己診断アンケート」結果 =

1月下旬の学校教育自己診断を実施するにあたりご協力ありがとうございました。今年度も昨年度同様に、文部科学省の施策による「ギガスクール構想」の関連で導入していただいたタブレット端末を活用して、各家庭にてアンケートを実施し、一括集計しました。

これらの結果から、今年度の教育活動の成果と課題が見えてまいりました。次年度以後の取り組みの参考とします。生徒回答内容の中で、特に皆さんの関心が高いであろうと思われる質問項目を抜粋して、その概要を掲載させていただきました。

また、「生徒用」「保護者用」のアンケート結果の詳細につきましては、柏原中学校ホームページのトップページに掲載しております。

<特筆すべき質問項目のうち、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な回答数を加えたものを紹介しています。>

- ・「学校に行くのが**楽しい**」では、**86%**でした。
- ・「学校での**友達関係**は、うまくいっている」では、**96%**でした。
- ・「学校では、**部活動**に積極的に取り組んでいる」では、**77%**でした。
- ・「先生は、**いじめ**など私たちが困っていることがあれば、迅速に対応してくれると思う」では、**73%**でした。

<近年、SNSに関するトラブルが増加傾向にあり、加害者が特定しきれず解決が難しいケースが増加しています>

- ・「**授業**は、わかりやすく楽しい」では**84%**でした。
- ・「**学校行事**等では、クラス、学年、学校全体で協力して取り組んでいる」では、**93%**でした。
- ・「学校では、**人権**の大切さ、**命**の大切さについて学ぶ機会が多い」では、**95%**でした。
- ・「学校内では、先生や友達、来客の方に**あいさつ**が自然に交わされている」では、**94%**でした。
- ・「教室や廊下をきれいに**掃除**している」では、**88%**でした。

<学校教育自己診断結果 学校全体の考察>

学校全体では、生徒設問20項目において、肯定的回答（90%台：4項目、70%以上14項目）が多く、全体的に高い数値でした。保護者でも、25項目中17項目で、70%以上が肯定的回答となり、全体的に高い数値でした。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、1学期の後半に学級閉鎖や学年閉鎖が相次ぎました。そして、**部活動にもかなり制限を受けてしまいました**。また、12月にはインフルエンザの流行により1年生が学年閉鎖になってしまいました。このような厳しい環境下で、昨年に引き続き多くの学校行事が制約されました。しかし、そのような中でも、生徒たちと共に知恵をしぼりオンラインでの生徒総会や、学年毎に思考を凝らした「スポーツの部」、学校全体での「文化の部」などを実施していきました。生徒たちは、限られた環境の中いろいろな行事を例年とはちがった形で経験することで、多くの事を学んでくれたと思います。われわれ教員は、激変する世の中であっても、学校教育で子どもたちに、どのような力をつけるのか考えていく必要があります。そして、そのために必要な資質・能力を育成していかなければなりません。今後も本校の教育活動にご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。